

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 宮北小学校

作成日

令和 7年 3月 1日

1 教育目標

心身ともに健やかで、たくましく生きる子供の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	「毎日の勉強がよくわかる」(児童90%) 「子供主体の学習を実現しようとした」(教師90%)	「学校が楽しい」(児童90%) 「子供は毎日楽しそうに学校に通っている」(保護者90%) - いじめの解消率100%	「外で元気に遊ぶ」(児童80%) 「給食の時間が楽しみだ」(児童80%) 「積極的に体を動かすよう計画し、実践した」(教師90%)	「学校は、教育活動や子供の様子をわかりやすく伝えようとしている」(保護者80%) 「地域や保護者と連携した取り組みを実践できた」(教師80%)
意見重点目標に対する	- 学校の今年度の目標はとも良い - 現状をとらえて設定されていると感じる	- 子ども一人ひとりを大事にしようとしている。 - いじめ対策についての目標もありこんではどうか。	- 良い目標だと思う。 - 体力テストを実施しているならその結果から分析した目標や指標も加えてみてはどうか。	- 地域と連携しようとする意識が感じられる - コロナ禍を終えて新たにいろいろなことを見直して目標を考えるといい。
意見取組状況に対する	- 基本的な学習のとらえかたを学校全体で共通理解していることが伝わってくる。 - 体験活動を多く取り入れて子どもが生き生きしている。	- 宮北小学校ならではのたてわり活動はとて面白い。続けていってほしい。 - 学校に来にくい子への対応状況も聞けばよくわかる。地域にもなにかできることはないか。 - 図書室の整理がなされいていい。	安全や健康に対する教育の出前授業や特別授業などが多く実践されていて良い	学校運営協議会を参観や集会の後に設定してくれることで、今までなかった経験が多くあった。6年生を送る会とてもよかった。いいものを見せてもらった。
に取組する適切さの検証結果	全国学力・学習状況調査や和歌山県学習到達度調査の結果、全国や県の正答率を上回る結果であることから、子供たちに力がついていることがうかがえ、取組は妥当であるとわかる。	- 小規模校ならではの家族的な関係性がよい。伝統となっている。 - 現代的な課題として、SNSとの付き合い方やモラルの学習は子供だけでなく大人にも必要だ。	- いきいきと外遊びを楽しんでいる子どもが多くてうれしい。 - 地域でも家庭でももっと声を掛け合ったり話をしたりする機会をふやしていく取組があってもよい。	- ふれあい会を毎年行っていることで対面する場がありうれしい。 - もっと協力できることあれば相談してほしい。
改善年度方法に向けた意見	デジタル機器を活用した子どもたちの学習への導入については詳しく見えるので、それを指導する教員の研修やスキルについても考えていくべき。	学校に来づらさを感じている子へのケアをより一層細やかに取り組んでもらえば。	子供の体力についても自校の状況を分析してみてはどうか。来年度の指標にも加えてみてはどうか。	- ホームページには関心がある人も多いので、大変だと思うができるだけ更新してほしい。 - 地域の取組やイベントなどの周知を学校にも協力してほしい。

3 その他のご意見

・地域の防災訓練の参加状況から見ると、宮北地区の住民の防災意識の低さが心配される。学校と連携し、子どもから発信した防災訓練の周知で、活性化を図れないか。